

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	市民安全課	熊澤 隆士
防安-10	実施事業	放置自転車防止事業	■ 自治事務	主管課 市民安全課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	駐輪対策の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。
効果	駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。 歩行者の安全な通行を確保するため、放置しづらい環境づくりを推進した。 市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の警備を委託した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	44,698	50,877	当初予算(千円)	50,178		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他	28,693		
	一般財源	44,698	50,877	一般財源	21,485		
	人員配置数	1.6	1.6	人員配置数	1.6		
人件費(千円)	12,524	12,790	人件費(千円)	14,308			
事業経費運営	総事業費(千円)	57,222	63,667	総事業費(千円)	64,486		
	市民1人当りの経費(円)	324	361	市民1人当りの経費(円)	365		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している	
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済	
		協働実施済の場合のパートナー 駐輪をしづらい環境づくりの有志(鎌倉駅周辺の事業者等)	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	自転車利用者の拡大による駐輪場用地の確保や既存施設の老朽化による修繕もしくは改修には、予算の増額が必要だが、補助金の活用や関係事業者との協議により、費用負担や削減を図れるよう努めていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・放置自転車等の根絶には継続的にマナーを守る意識の高揚を図っていくことが必要不可欠であり。事業を廃止、休止した場合、放置自転車が増加することは容易に想定されるため、市民生活への影響は大きい。 ・自転車等が放置されない環境づくりは、本市の総合計画の将来目標である「安全で快適な生活が送れるまち」を目指すうえで、貢献度は高い。 ・放置自転車に対しての警告札の貼付、放置禁止区域の周知、自転車等駐車場の利用呼びかけを繰り返し行うことで、放置される自転車は減少傾向にあり、事業の成果は上がっている。 ・未だに道路上に放置自転車等が散見されることや、多数の駐輪場待機者がいる現状を踏まえると、さらなる駐輪場用地の確保について長期的な課題として取り組んでいく必要がある。		

<p>令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)</p>	<p>・放置自転車等防止対策によって放置自転車等は年々減少しており、更なる改善を図るため、平成28年度に市役所敷地内に暫定駐輪場を設置するとともに大船駅周辺において、駐輪場用地の使用合意に至ったが、依然として駐輪場が不足しているため、新たな駐輪場用地の確保と整備が課題である。 ・買物客などの店舗利用者の歩道等一時駐輪に対する対策として、自転車等放置禁止キャンペーンを行った経過はあるが、引き続きマナーを守る呼びかけを継続的に行う必要がある。 ・都市計画施設である大船駅東口自転車駐車場は、設置から約38年が経過し老朽化が進んでいるため、老朽化調査を実施したうえで改修を行う必要がある。</p>	
<p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p>	<p>・駐輪場不足を解消するため、江ノ電駅周辺の土地所有者と土地借用に係る協議に着手した。 ・自転車等放置禁止キャンペーンを引き続き展開するとともに、放置自転車等が特に問題になっている湘南町屋駅にて早朝の通勤・通学時間帯にマナー啓発活動等を重点的に行った。また、放置自転車防止対策業務委託について、これまで平日を基本としていた放置自転車等の監視活動を土日でも可能とする業務の見直しを図った。 ・都市計画施設の大船駅東口自転車駐車場の老朽化調査を実施した。</p>	<p><input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決</p>
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<p>・駐輪場不足の解消に向けて、江ノ電駅周辺の土地所有者と土地借用に係る具体的な協議を進める必要がある。 ・大船駅東口自転車駐車場における老朽化調査の結果を受けて、改修整備案を策定し、横浜市と協議を進める必要がある。</p>	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	条例により放置防止対策を実施している自治体								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	葉山町	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>	
-----------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市内2箇所にある放置自転車等保管場所に移動した放置自転車等の年間総数						単位	台	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
放置自転車等の減少により、引き続き歩行者が安心して歩ける空間の確保が可能になる。	目標値	3,400	2,400	2,300	2,200	2,100	2,000				
	実績値	2,514	1,956	1,600	1,658	1,448	1,157.0				
	達成率	73.9%	81.5%	69.6%	75.4%	69.0%	57.9%				

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>	<p>・放置自転車等保管場所に持ち込まれた放置自転車等の年間総数は、当該事業の実施により、年々減少傾向である。引き続き本事業を実施することで、子どもや高齢者が安心して歩ける歩行空間の確保を目指す。</p>
------------------------------	--